

降雪時の留意事項 (防災対策として)



2014年2月8日関東大雪 翌朝の積雪状況（千葉県柏市）



令和8年1月28日（土曜日）

第7回防災活動に関する意見交換会

1月7日(水)午後6時 雪と雨・風の予想

Sunny Spot



●向こう 1 週間の 天気 ポイント ●

5日(月) 仕事はじめ 日本海側で大 雪 や吹雪

7日(水) 南岸低気圧 太平洋側で雪の所も

8日(木) 北日本～東日本で荒れた天気の恐れ

10日(土) 西回りで強烈寒気が流入

1月4日夕方の予報

南岸低気圧の
接近に警戒！

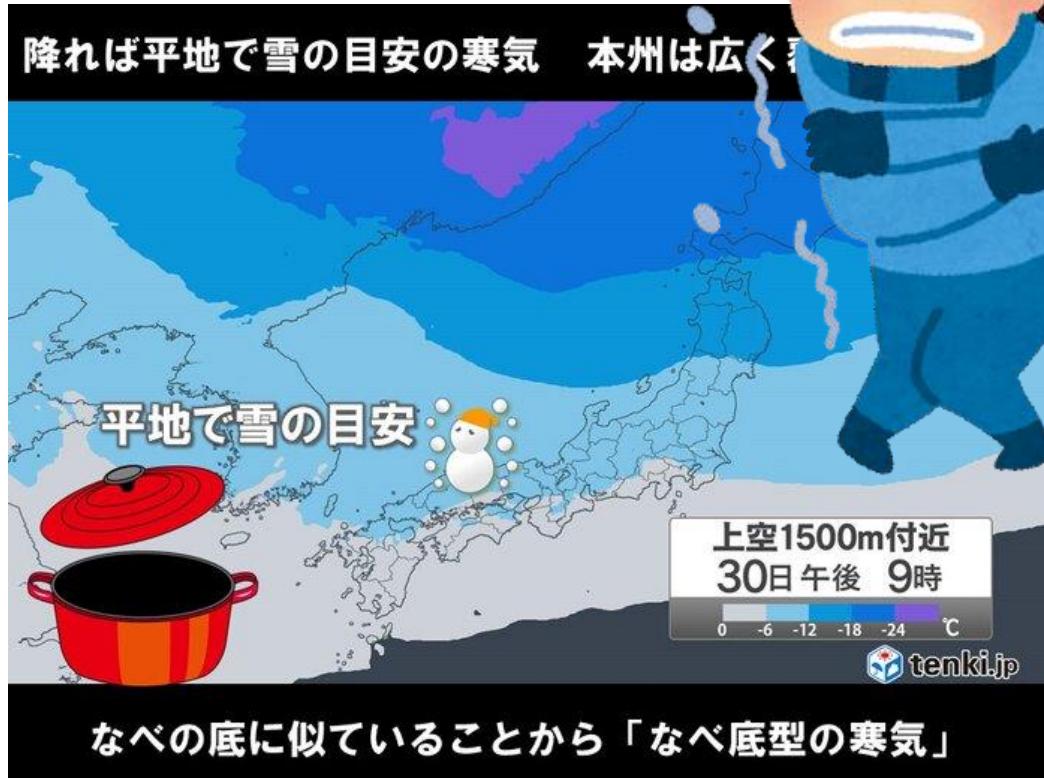
南岸低気圧

なんがんていきあつ :

南岸低気圧とは、日本列島南岸を発達しながら東に進んでいく低気圧のこと。秋から春にかけてよく発生する。暖気を運んでくる日本海低気圧とは対照的に、日本に寒気を運ぶことが多い。また、日本列島の太平洋側に大雪や大雨を降らせることが多く、特に東京を含む関東平野における大雪のほとんどは南岸低気圧によるものと言われている。

出典: [ウィキペディア](#)

今年は鍋底型低気圧(寒気団)の予報です 比較的長期にわたり寒気が日本列島に 居座ります



「なべ底低気圧（なべぞこていきあつ）」とは、**冬の日本付近でよく見られる気圧配置で、強い寒気がまるで鍋の底のように本州に居座り、大雪や厳寒をもたらす現象**を指します。これは、上空の非常に冷たい空気（寒気）が特定の地域に停滞し、数日間（数日～1週間程度）続くことが特徴で、日本海側を中心に積雪増加や交通障害を引き起こすことがあります。

特徴とメカニズム

- **寒気の停滞:** 上空（特に高度5000m付近）にマイナス36℃以下の強い寒気が流れ込み、これが「鍋の底」のように日本列島に張り付きます。
- **冬型の気圧配置:** 典型的な冬型の気圧配置（シベリア高気圧と西高東低の気圧配置）が続き、日本海を通過する低気圧が雪を降らせます。
- **影響の長期化:** 寒気が居座るため、短時間で終わらず大雪や厳寒が数日間にわたって続くのが特徴です。

引き起こされる気象現象

- **大雪・吹雪:** 日本海側（北陸、新潟など）を中心に短時間で積雪が急増し、猛吹雪となることがあります。
- **厳寒:** 強い寒気（氷点下）が南下し、厳しい冷え込みとなります。
- **交通障害:** 大雪や立ち往生のリスクが高まり、物流や人の移動に大きな影響が出ます。



ミドリ安全 防寒用
安全長靴
¥7,600
[a Amazon公式... その他](#)
送料無料
5.0 ★★★★★ (6)



プロノ スターマリ
ン STM-1701 防寒...
¥7,227 ¥8,030
[a Amazon公式サイト](#)
送料無料
4.5 ★★★★★ (111)



日進ゴム ハイパーV
スタッドレス防寒...
¥5,037
[a Amazon公式サイト](#)
送料無料
4.4 ★★★★★ (24)



MITSUUMA ユニセ
ックス大人 SB-89...
¥5,500 ¥6,600
[a Amazon公式サイト](#)
送料無料
4.6 ★★★★★ (10)



MIGRANT ミグラン
ト防雪長 鈴木産...
¥3,298
[モノタロウ公式](#)
¥3,850 以上で送料無料



ズパイプ柄ショベル 角
スコップ・シャベル

★★★ (11 件のユーザー レビュー)

¥1,380



プラスチック
ショベル 大 (先...
¥2,650
カスタムジ...



009705 コンパ
ルプラスチック...
¥1,815
アウントー...



角スコップ木
柄ショベル ...
¥3,298
モノタロウ...

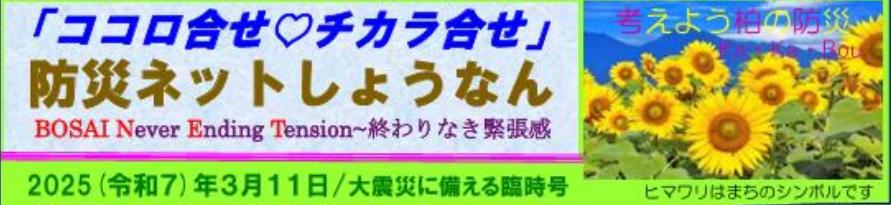


雪離れのよい
除雪スコッ...
¥2,480
ヨドバシカ...



コンパルプラス
チックショベル
¥2,007
Amazon公...

発災時のライフライン
供給の長期停止に備え
暖を取ることに
心がけましょう
右ニュースのデータや
白黒印刷は無料です
住民配布のカラー版は
有償(目安1枚4~5円)



2025(令和7)年3月11日/大震災に備える臨時号
自然災害に強いまちづくりをめざしましょう！



南海トラフ地震は30年以内に約80%の確率で起きるそうです
15年前の震災の時を思い出し行動しましょう

震災後の「暖の取り方」を考えましょう
これから夏の季節に向けても欠かせませんよ！

今年で15年が経過する東日本大震災。被災地は粉雪の舞う天候だったことが記憶にある方も少なくないと思います。避難先はライフライン供給が停止し、凍える毎日を強いられた住民が決して少なくありません。2年前の能登半島大地震直後も、交通網遮断で支援の手が及ばない地域では同様でした。

当会役員等有志が昨年6月に実施した防災キャンプは、雨の降るあいにくの気候であったため、気温低下の野営場所では「石油ストーブ」が大活躍でした。

災害時にいかに暖を確保するかは、被災地の生命線でもありますので、是非住民の皆さんも、この暖を取ることに視点を移した事前の取り組みをお願いします。

直火の「暖」

工事現場や被災地で見かけるドラム缶焚火(たきび)は、屋内設置が難しく、灰や煙による周辺への悪影響がつきまといます。是非、**電力不要(乾電池使用型)の石油ストーブを灯油とともに用意しましょう**。各家庭で小型のストーブを用意、あるいは各住民団体組織での備蓄品としての配備、配備



締切り2月24日(土曜日)